

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	非常事態に備えて自主訓練を計画し、避難技術を身につけられるように訓練の回数を重ねていく	・洪水等の防災避難計画書の作成 ・地元防災訓練への参加 ・施設内自主訓練の実施	6ヶ月
2	36	○一人ひとりの尊重とプライバシーの保護 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	居室ドアに小窓があり、廊下から居室の中が見える場合もあるため、プライバシーを確保する工夫をする	各居室の小窓に、廊下から見えないようにフィルムを貼り、プライバシーを保護する	1ヶ月
3	49 (60)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	今は、利用者の三分の一ぐらいの利用者ができているが、利用者全員が出かけられるように支援する	入居者の希望時や職員の買い物等と一緒に出かけるようにする。また、外出レクリエーション等を企画し、全員が外出する機会を作る。	2ヶ月
4	4	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族全員に開催案内を出したり、開催日の工夫や出席依頼を続け、家族が気軽に参加できるようにしたい。	運営推進会議への案内を、ご家族全員に出す。	1ヶ月
5	26	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリングを毎月実施し、モニタリングを基に3か月毎に介護計画の見直しを行う等、利用者の現状に即した計画となるようにしたい	外部評価の意義を再認識し、より良い介護を目指し、利用者の現状に即した介護計画等を、適切な時期に作成する。	2ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。